

水戸の登録有形文化財をめぐる 歴史探究まち歩き

～明治・大正・昭和の建築美に触れ、現代の空間で未来を紡ぐ～

1. 企画概要&開催日

開催日	2026年11月14日（候補日案）
集合場所・時間	茨城県三の丸庁舎（旧茨城県庁）正面玄関前 午前9時（10分前集合 ガイドンス）
昼食場所・時間	テツ・アートプラザ「niko and ... COFFEE」 午前11時30分～
発表場所・時間	水戸市民会館 午後13時～
定員・班分け	20名 （5人×4班）
参加費	1,000円（昼食代・保険代含む） 美術館見学は自由（入館料700円）

【企画の目的】

水戸市内に現存する「国の登録有形文化財」をはじめとした歴史的建築を班ごとに巡り、その意匠や歴史的背景を体感します。さらに、リノベーション建築での昼食や、現代木造建築の最高峰である水戸市民会館での発表を通じて、歴史的建築物等の「保存」と「活用」の未来について探究します。

2. タイムスケジュール

- 09:00 | 茨城県三の丸庁舎（旧茨城県庁） 集合・スタート
- 09:05 | ① 弘道館 & 水戸城跡大手門
- 09:45 | ② 水戸市水道低区配水塔 ★
- 10:15 | ③ 茨城県立水戸商業高等学校 旧本館玄関 ★
- 10:45 | ④ 祐月本店 雛蔵 ★
- 11:05 | （大通りを南へ移動。歩き疲れた場合はバスを利用）
- 11:30 | テツ・アートプラザ（旧川崎銀行） にて昼食
- 12:45 | （水戸市民会館へ移動：徒歩6分）
- 13:00 | 水戸市民会館にて「班別発表会」（15:00 終了・解散）

（※★印は国の登録有形文化財）

3. 歴史を味わうランチ会場：テツ・アートプラザ（旧川崎銀行水戸支店）

建築年：1909年（明治42年）竣工

リノベーション 2025年11月21日「テツ・アートプラザ」オープン

2026年2月14日クヴェレ美術館オープン

見どころ：水戸市内に現存する数少ない貴重な明治期の洋風建築を活かし、新たな交流の場として生まれ変わった『クヴェレホール』。両脇には、美術館とカフェが新設され、気軽に芸術文化に触れることができるスペースとなりました。館内のカフェ「niko and ... COFFEE」の壁面には、当時の外壁や煉瓦の風合いがそのまま活かされています。ご興味のある方はクヴェレ美術館（入館料は700円各自負担）もご覧になれます。



4. 街歩きコース&見どころガイド

茨城県三の丸庁舎（旧茨城県庁舎） 【昭和 5 年築】

注目：近世ゴシック復興様式の重厚な近代建築。茶褐色の「スクラッチタイル」や、内部の壮麗な大理石階段など、昭和初期のモダニズム建築の最高峰です。

① 弘道館&水戸城跡大手門

【江戸時代（天保 12 年）開校／重要文化財・復元建造物】

注目：水戸藩第 9 代藩主・徳川斉昭によって建てられた日本最大級の藩校です。儒学や武芸だけでなく、医学や天文学まで網羅した総合大学のような場所でした。当時の姿を残す「正庁」や「至善堂」、そして令和 2 年に復元された大迫力の木造の「大手門」から、城下町水戸の歴史の深さを体感できます。



② 水戸市水道低区配水塔 【昭和 7 年築／国登録文化財】

注目：高さ約 21m の円筒形コンクリート構造。

ゴシック風の入り口装飾、上部の繊細なレリーフ、モダンな窓配置など、ヨーロッパの古城を思わせる美しさです。



③ 茨城県立水戸商業高等学校 旧本館玄関

【明治 37 年築／国登録文財】

注目：旧校舎の玄関部分。

ベルサイユ宮殿を模したとされる優美なロココ調のドーム屋根と、淡いピンク色のアーチが特徴です。



④ 祐月本店 雛蔵 【大正 5 年築／国登録文化財】

注目：老舗人形店の敷地内に建つ、重厚な瓦屋根と白壁が美しい土蔵造り 2 階建ての蔵。水戸の下町に今も残る、歴史的な商家の佇まいを伝えています。



5. 班別発表会 水戸市民会館（13：00～15：00）

建築デザイン：日本を代表する建築家・伊東豊雄氏設計。木の温もりあふれる現代建築です。午前中に巡った「明治・大正・昭和のレトロ建築」と、この「現代建築」を対比させながら、発表を行います。

【発表テーマ案（いずれか 1 つを選択）】

- 💡 テーマ A：「私たちが選ぶ、水戸のレトロ建築ベストデザイン」
- 💡 テーマ B：「明治・大正・昭和の建築技術と、現代（市民会館）の木造技術の比較」
- 💡 テーマ C：「歴史的建築を現代に活かす、私たちのリノベーションアイデア」
- **発表ルール：**各班 5～7 分。街歩き中に撮影した写真や、ワークシートのメモをもとに、全員で役割を分担して発表。

